

# 令和4年 鳥取市教育委員会 4月定例会 会議録

1 日 時 令和4年4月22日（金） 13時30分 から

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 6階 第5会議室

## 3 出席者

教育長 : 尾室 高志  
教育長職務代理者 : 藤井 喜臣  
委員 : 前田 哲雄  
委員 : 山脇 彰子  
委員 : 畑 千鶴乃

[事務局]

副教育長 : 岸本 吉弘  
次長兼学校教育課長 : 安本 雅紀  
次長兼教育総務課長 : 横尾 賢二  
生涯学習・スポーツ課長 : 須崎 ひとみ  
文化財課長 : 佐々木 敏彦 学校保健給食課長 : 山根 ちはる  
中央図書館長 : 長本 次郎 教育センター所長 : 安田 直人  
学校教育課参事兼指導係長 : 浅見 康陽  
学校教育課参事 : 平戸 由美  
教育総務課長補佐 : 入江 卓司

[傍聴者] 1名

## 4 会議次第

○行事報告及び行事予定について [教育総務課]

### 【説明・協議事項】

- (1) 学校計画訪問実施計画について [学校教育課]
- (2) 教育振興基本計画における指標・目標値の実績について [各課]
- (3) 鳥取市・姫路市姉妹都市親善スポーツ交歓会について [生涯学習・スポーツ課]

### 【報告事項】

- (1) 令和4年第2回市議会臨時会の報告について  
・令和4年度鳥取市一般会計補正予算（4月補正） [各課]
- (2) 鳥取市B&G海洋センター「10年連続特A評価表彰」について [教育総務課]
- (3) 学校・児童クラブ等における新型コロナウイルス感染症の対応について [学校教育課]
- (4) 令和4年5月職員人事異動等について [教育総務課]

#### 【先回定例会の議事録】

#### 【その他】

- (1) 次期定例教育委員会の開催について
  - [5月] 令和4年5月27日（金）13：30～鳥取市役所本庁舎6階 第5会議室
  - [6月] 令和4年6月30日（木）13：30～鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

## 5 会議概要

13時25分 開会  
尾室教育長 あいさつ

- 行事報告及び行事予定について  
教育総務課長（資料に基づき説明する。）

#### 【説明・協議事項】

- (1) 学校計画訪問実施計画について  
学校教育課長（資料に基づき説明する。）
- (2) 教育振興基本計画における指標・目標値の実績について  
教育総務課長（資料に基づき説明する。）

#### 【質問】

（藤井委員）

これはどのような形で公表される予定ですか。

（教育総務課長）

まずは定例教育委員会での資料として公表しますが、改めての公表までは考えておりません。

(藤井委員)

2期の分は令和7年までということですから、これはまた努力されるということですが、評価を厳しめにつけておられるのではないかと思います。

例えば、1期の分の放課後児童クラブと放課後子ども教室の部分ですが、平成30年度に2校実績があつて、R1年度に1校増えて、令和2年度に1校増えたということではないのですか。

(学校教育課長)

これはその年度の開設数ですので、増えたわけではありません。

(藤井委員)

次のNo.7ですが、実績値を見ると、平成27年度はすごく低い数値で、そこからずっとあがってきていますが、目標値が100%というのはなかなか難しいと思いますので、これをC評価としなくてもB評価としてもいいのではないかと個人的には思いました。

それから、No.15の学習機会の情報提供の数というのも、確かに低いときもありますが、令和2年は146件ですよね。これをみるとA評価でもよいのではないかなと思います。少し厳しく評価されているように感じますのでもう少し高く評価されてもよいのではないかなと思います。

もう1つお聞きしたいのが、地産地消率が下がっているのですが、これはコロナと何か関係があるのでしょうか。

(学校保健給食課長)

やはり使う頻度は材料によって異なってきますが、鳥取産のものを予定していたがコロナで休校になってしまったことで使用できなかったというようなことがあります。毎日同じ割合で使っているというわけではありませんので、その辺りは少し関係があると思います。

(藤井委員)

わかりました。

(学校保健給食課長)

また、コロナだけの関係ではございませんが、昨年などは例えば玉ねぎが不作であるとか、どうしても地のものが入荷しづらい状況にある年がありまして、その場合はかなり下がってきます。その場合は市内のものが無理なら県内、県内のものが無理なら国内のものということでやっていますので、ものとしては入荷できますが、地のものではなくなってしまったということはあると思います。

(学校教育課長)

先ほどご意見いただきましたNo.7の件ですが、本来でしたら100%であればいけないものです。ところが、通常の学級の児童生徒に対しては、学校側が作成の必

要性を感じていても、保護者の合意形成が得られず作成に至らないというケースがありまして、学校の必要数と実際に作成した数との齟齬が出てくるために100%になっていないということで、数字的にはCですが、実情はAに近いのではないかと思います。

(山脇委員)

これは保護者の同意が必要なものなのですか。

(学校教育課長)

はい。合意形成で両者がこの支援をするということを納得しないと進められないものです。

(藤井委員)

全員に作成するわけではなく、作成が必要だと思われる子どもに対して作成するということですので、同意がいるということですね。

(学校教育課長)

はい。

(尾室教育長)

No.15はどうですか。

(生涯学習・スポーツ課長)

146件ということで令和2年は120件を超えており、情報提供をした数としては増えていますが、実際に活用していただいたですとか、参加者数を見るとまだ満足 of いく結果ではないということでBとなっています。

(藤井委員)

わかりました。

(尾室教育長)

そうしましたらNo.7についてはB評価に情報修正させていただきますか。

(学校教育課長)

はい。

(前田委員)

2期はこれからだということですが、少し教えてもらえたらと思うのですが、2期の8ページのNo.18の社会教育士や社会教育主事を公民館にできるだけということで、実績が12%、13%で目標値が40%、評価がBというのは、かなり見通しが立っているという状況なのでしょうか。公民館にこういった方が配置していただくとさまざまなよいことがあるのだらうと以前から感じています。

(生涯学習・スポーツ課長)

そうですね。毎年、公民館長会等で、こういった社会教育士の研修を受けていただくということでご案内を差し上げております。本年度も昨日実施してきたところですが、現在7名が社会教育士を取得済みです。研修に参加していただくと、以前

は1、2か月かかっていたようですが、2週間でこの資格が取れるということで、2年に分けて平日10日間のうち、7日は義務免で参加していただけるような形にしておりますので、その辺りで少し増やしていければよいなというように思っております。

(前田委員)

これから40%に近づいていくという見通しが立っているということですかね。

(生涯学習・スポーツ課長)

まだ見通しは立っていませんが、徐々に近づけていきたいと思います。

(山脇委員)

残りの3日間は有給休暇を使わなければいけないということですね。そのあたりがもう少し配慮が必要といたしますか、意欲をそがれるところではないかなと思います。本人が資格を取りたいと思ってもこれが有給休暇だと少し迷うところだと思います。有給休暇は資格を取るためだけではなくて、家庭の事情がいろいろあってそれぞれに使い方があると思いますので、もう少し配慮をすることができれば資格を取ろうとする方ももう少し増えてくるのではないかと思います。もちろん3日間全部でなくてもよいとは思いますが何かできればよいなと思います。

(生涯学習・スポーツ課長)

はい、努力してまいりたいと思います。

(前田委員)

資格があることで報酬に変化はあるのですか。

(生涯学習・スポーツ課長)

報酬は変わりません。

(前田委員)

もしかすると、資格を持っている方が重荷に感じられる方もいるのかもしれないね。

### (3) 鳥取市・姫路市姉妹都市親善スポーツ交歓会について

生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

## 【報告事項】

### (1) 令和4年第2回市議会臨時会の報告について

・令和4年度鳥取市一般会計補正予算（4月補正）

教育総務課長（資料に基づき説明する。）

生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

### (2) 鳥取市B&G海洋センター「10年連続特A評価表彰」について

生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

(3) 学校・児童クラブ等における新型コロナウイルス感染症の対応について  
学校教育課長（資料に基づき説明する。）

(4) 令和4年5月職員人事異動等について  
教育総務課長（資料に基づき説明する。）

#### 【その他】

(1) 次期定例教育委員会の開催について

[5月] 令和4年5月27日（金）13：30～鳥取市役所本庁舎6階 第5会議室

[6月] 令和4年6月30日（木）13：30～鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

#### 【質問】

(藤井委員)

先生方の配置について、配置できなかったのはどのくらいあるのでしょうか。

(岸本副教育長)

今回は小学校で配置できなかった学校が多く、全部で15校未配置が出ています。

(藤井委員)

15校というのは昨年よりも多いのですか。

(岸本副教育長)

はい、多いです。また、定内の常勤講師が非常勤になるケースも多く、なんとかはっていただくよう県にお願いしていますが、もともと小学校というのは中学校と違って担任外、級外が1人というような体制で何とかやってきていましたが、それがいなくなるということで、かなり学校では負担感を感じながらやっているところでは。人を見つけて、早く手当てをするということを今一生懸命にやっているところでは。

(前田委員)

中学校はいかがですか。

(学校教育課長)

非常勤の対応はありますが、定数は埋まっております。

(尾室教育長)

県の方には引き続き努力していただいているということですね。

(岸本副教育長)

はい。

(尾室教育長)

全県的にではなく、鳥取市で少し偏っているのですね。

(副教育長)

全県的に埋まっていない傾向にあります。特に今年は東部で少なくなっています。

(畑委員)

鳥取県の教育委員会の中に、人材の登録や掘り起こしのような取り組みのベースとなる場所があるものなのでしょうか。マッチングをする場と申しますか、免許や資格を持っておられるけれども今離れておられて、また何かの形で戻られるですかサポートできることはないだろうかといったご希望をされるかたとのつなぎ役としてのサポートがあるかと思うのですが、そういったものは学校の先生の場合はどこがされているのでしょうか。

(岸本副教育長)

県の教育委員会にあります。職員の講師を登録するというもので、一旦登録してもらっているのですが、登録した講師については交配できるのですが、それが足りないということで、現在県ではそれぞれ個別に探しながら声をかけていただいています。基本的には人材開発課ということが人事を持っており、そこに講師を登録して、その中から必要に応じて配置していくようになっています。本来はそれで回っていたのですが、教職員のなり手が少ないということで採用はずっとされていくのですが、講師より多く採用すると今度は講師がいなくなってしまうと、本来は講師で代替えをしないといけないところが今は回っていないというような状況になっています。

(畑委員)

現在は学校現場に関わっておられないけれども免許を持っている人というのを把握しておられるのですか。

(岸本副教育長)

免許があるけれども教員の職についてない方については、そこまで掘り起こしができているかはわかりません。一旦登録した者や、学校に勤めた経験がある者、採用試験を受けられた者など、何らかの形で県の教育委員会がその者を把握しているというケースは情報を持っていると思います。

(畑委員)

そういった方々に働きかける何か仕組みができないだろうかと思ひまして、そういった仕組みがあれば、希望する方にスムーズに情報が伝わるのではないかなと思います。

(尾室教育長)

今畑委員がいわれたようなことを県の人材開発課にかけあってみたらどうでしょうか。県外から転入された人についてはノーケアですので、そういったものを募つ

てバンク登録されませんかというようなことができないかということ聞いてみてもいいかと思います。

(岸本副教育長)

そうですね。いろいろと案を考えなければいけない状況に入っています。今後もしこういった状況が続くそうなので何とか手を打たないといけないということを近々話に行きたいと思っております。先ほどいただいたご意見も1つの案としてお話しさせていただきたいと思っております。

教育長 以上で4月定例教育委員会を終了します。

閉会 14時20分